



台車型振動台 ～台車ぶるる～



簡易振動台台車ぶるるは、加振用ハンドル付き台車と2階建て木造模型から成り自らの操作で振動現象を体験することができる装置です。実際の木造建物に近いモデルで実験できるため、耐震補強の効果が実感しやすく、偏心によるねじれ等3次元的な動きも見るすることができます。また、子供を乗せて揺れを実感させることもできます。

特 徴

- 耐震補強有無の建物模型を2棟同時に揺ることにより、揺れ方の違いをビジュアルで見られます。
- 柱と梁が独自のアイデアで柔な接合となっており、地震時の建物の揺れをビジュアルで見られます。
- 筋交いを容易に着脱出来、筋交いの有無、配置による建物の揺れが見られます。
- 軽、重 2種類の屋根を用意しており、屋根の重さによる建物の揺れの違いを見られます。
- 良好、不良 2種類の建物基礎を用意しており、基礎の良否による建物の揺れの違いを見られます。
- 軟弱地盤の模型を用意しており、地盤の良否による建物の揺れの違いを見られます。(オプション)
- 小型地震計 E キャッチャーを台車に設置することにより、その時の震度相当値が分かります。

主な仕様

■ 起振台車

寸法 : 1200 x 600 x 250

重量 :

ハンドル部 : 650 x 450

■ 建物模型 (2階建て)

寸法 : 600 x 450 x 750

柱の径 : 24mm

■ 建物基礎模型

筋交い : 10 x 10 x 326

■ 建物基礎模型 (良好)

寸法 : 600 x 450 x 50

建物基礎 (不良) : 4隅が切断され、マジックテープで接続されている。

■ 地盤模型

材質 : ウレタン樹脂 (特殊加工)

寸法 : 650 x 500 x 40

この製品は応用地震計測 (株) のご協力により作成したもので、購入も可能です

製品写真



組み立て部品一覧



組み立て用小物部品一覧



基礎模型組み立て



1階組み立て



模型完成



加振用ハンドルと台座

名古屋大学・環境学研究科都市環境学専攻 福和伸夫研究室 (fukuwa@sharaku.nuac.nagoya-u.ac.jp)
ぶるるのホームページ <http://www.sharaku.nuac.nagoya-u.ac.jp/laboFT/bururu/>

Nagoya University Graduate School of Environmental Studies